

その他労働学校は大阪にもあり、神戸でも久留弘三氏の主宰してゐた労働学校を再
起せしめたやうであるけれども、未だ総聯合の組織とは密着してゐない。ソレだけに
大阪、神戸、東京に於ては移動労働学校、巡回系防衛、短期講習會、労働講座が盛ん
に開かれ、實際的效果と響けつゝある。

この集會による教育は、二大別して組合指導者の養成と、一般組合員の教育に分け
てゐるが、その前者のために、研究會と各聯合會とともに盛んに開いてゐる。大阪では
ソノために一水會と労働會がある。系防會は前年度大會以來全國で五百回に近く、そ
の集會は小規模であるが極めて重大な教育的任務を遂行してゐるのである。

機関紙發行と出版物

出版物としては、總聯合全國的機関誌として毎月「労働運動」を發行してゐる。そ
の外大阪聯合會の「新社會」、神奈川縣聯合會の「新與階級」等の各聯合會機関紙が
發行されてゐる。

(労働文化)

また各組合の機関紙として神戸の「司厨従業員時報」、東京の「京濱校友會々報」
大阪に「演進の月報」等が發行され、聯合會々報、組合ニユース、支部會報等四十三
種に及んでゐる。

パンフレット、リーフレットと相當に發行され、「國際労働會議の話」「金融資本
の話」「ソビエト五年計画を見る」「獨逸労働運動とナチスの活動」「アメリカN
R.A.の動向」などがある。

五

總聯合の教育方針

總聯合の基本的な教育方針は、「我が日本の國情に即せる労働組合主義の徹
底」にあるのであつて、最近特に注目すべきは、組合の建設的方面及び事務的方面に
對する研究の權頭しつゝあることである。コレは一面に於て、ヨリ戰關的に教育され
つゝあると共に、他面極めて堅実に進みつゝある證左であつて、教育節はかゝる傾向
を助長し、労働組合主義の徹底に充分の努力を傾注する方針である。